



第19回上田八木・金融政策サーベイ(2018年4月)の結果について

～4月のMPM予想は回答者の99%が政策変更なしの見方。金利予想はどの年限も不変との見方が多い。出口開始時期は今から1年未満との見方が3%に減少(前回6%)、1年以上3年未満が増加した(前回71%→今回76%)。

2018年4月25日(水)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 回答者(179先)の99%が4月のMPMで政策変更なしとの見方。
- 金利予想はどの年限も不変の見方が大半(ただし無担保コールO/N金利は上昇の見方がやや増加の一方、2年、10年金利は上昇との見方が減少している)。
- 金融緩和からの「出口開始時期」は、「1年未満」の見方が減少(前回6%→今回3%)した一方、1年以上3年未満が増加した(前回71%→今回76%)。

【調査の概要】

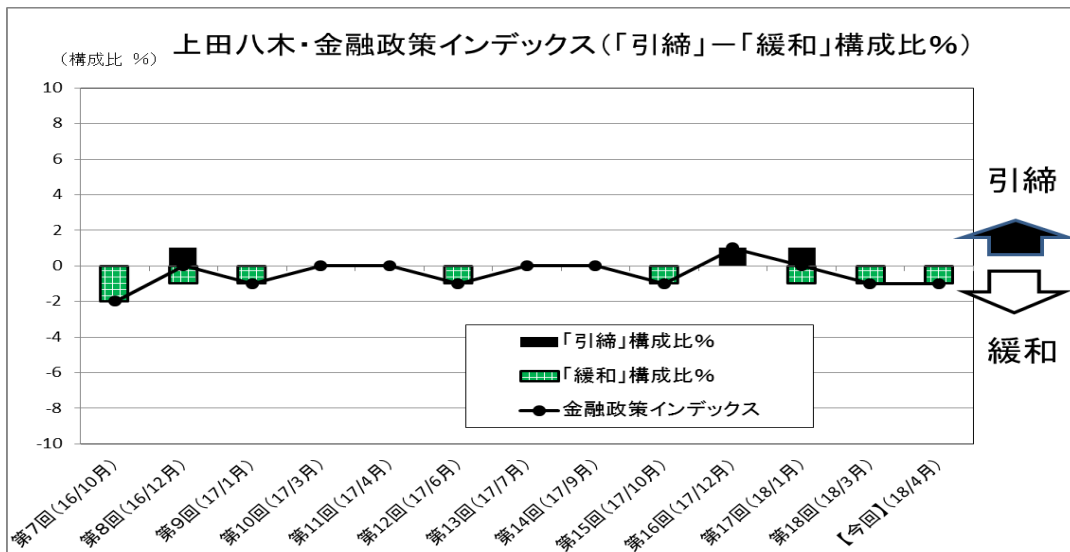
調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(196先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年4月20日～24日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	91.3% (回答者数179先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(4月26日～4月27日)における決定について

前回と同じく回答者の99%が「不変」の見方。

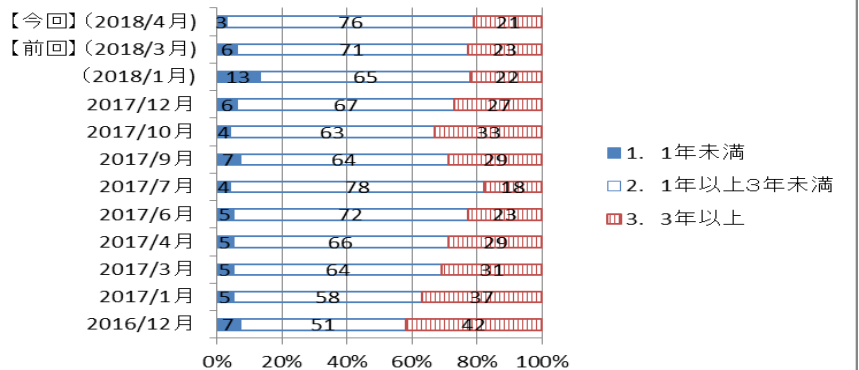
上田八木・金融政策インデックス(「引締」ー「緩和」構成比%)は、前回と同じく▲1だった。



(ご参考)

【今回12回目となる追加質問:Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

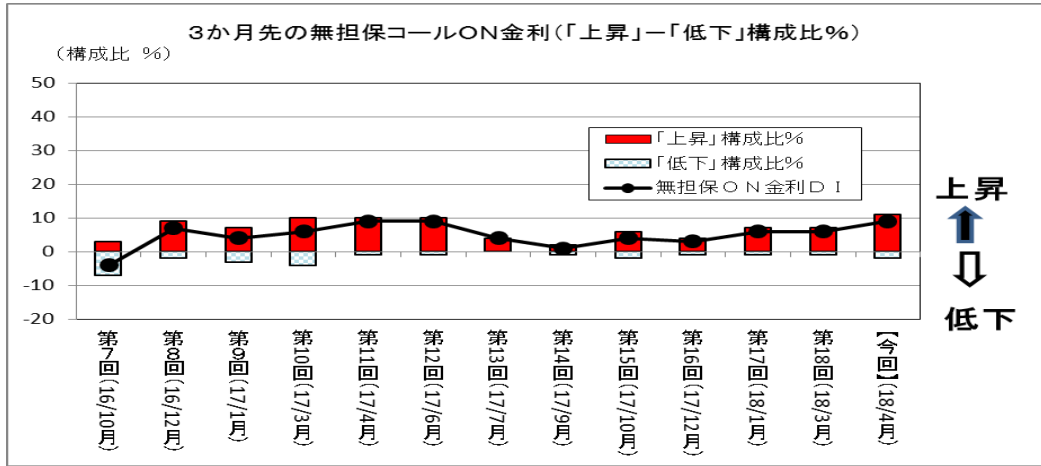
1年未満と回答する先が3%に減少(前回6%)し、1年以上3年未満が76%に増加。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の87%が「不変」と予想。2%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は11%だった。

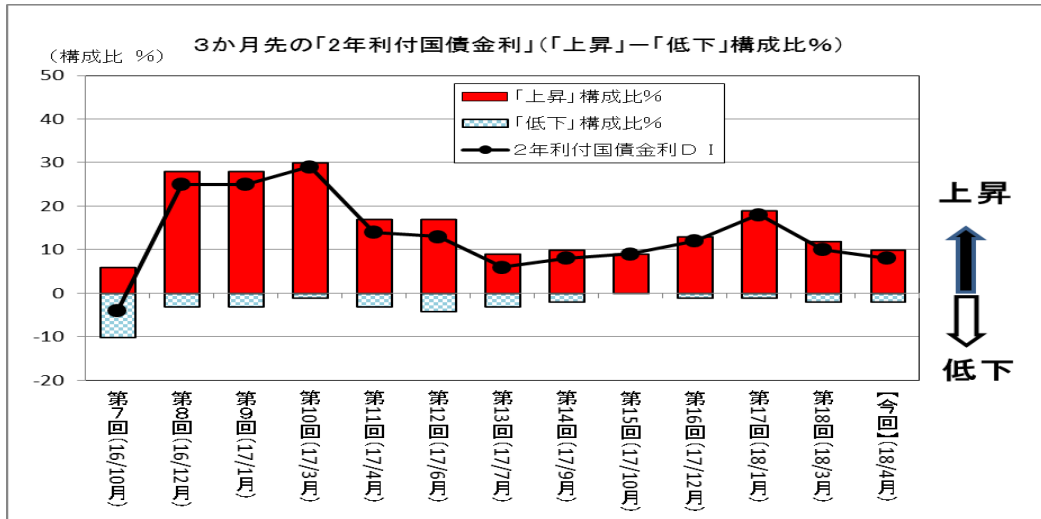
前回との比較では、「上昇」とみる先は+4%ポイントとやや増加(前回7%→今回11%)。「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1%→今回2%)。「不変」とみる先は▲5%ポイント(前回92%→今回87%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の88%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者2%。「上昇」を予想した先は10%であった。

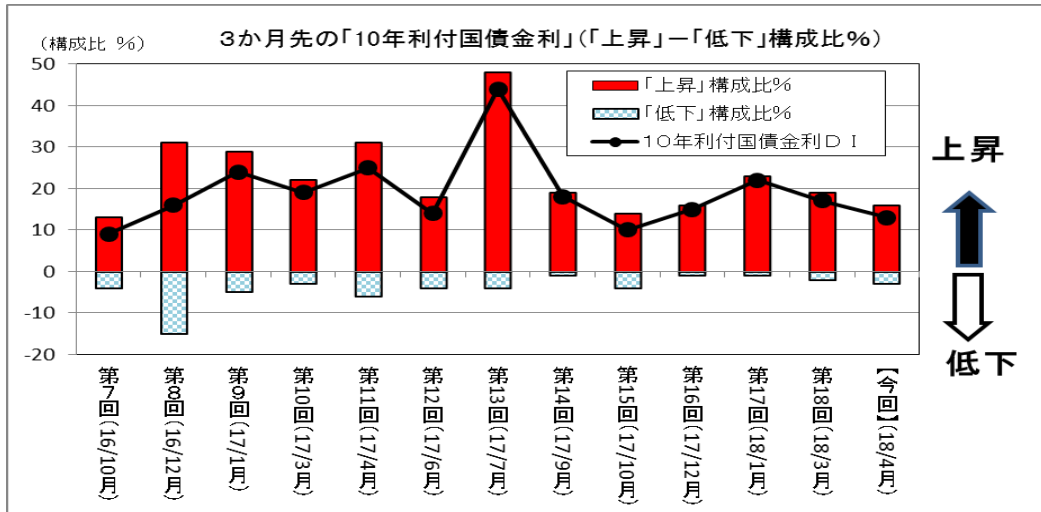
前回との比較では、「上昇」とみる先は▲2%ポイントとやや減少(前回12%→今回10%)。「低下」とみる先は前回と同じ2%。「不変」とみる先は+2%ポイント(前回86%→今回88%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の81%が「不変」を予想。3%が「低下」、「上昇」を予想した先は16%。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲3%ポイントとやや減少(前回19%→今回16%)。「低下」とみる先は+1%ポイント(前回2%→今回3%)。「不変」とみる先は+2%ポイント(前回79%→今回81%)。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)